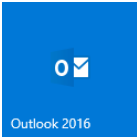


新規設定

① Outlook 2016を起動します



②の「Microsoft Outlook 2016 スタートアップ」画面が表示します

※ デスクトップやタスクバー上に Outlook 2016 が表示されていない場合は、スタートボタン から

「すべてのプログラム」を選択し、一覧から以下のボタンを選択して起動します

* 「Microsoft Outlook 2016 スタートアップ」画面しない場合 「ファイル」をクリックします。

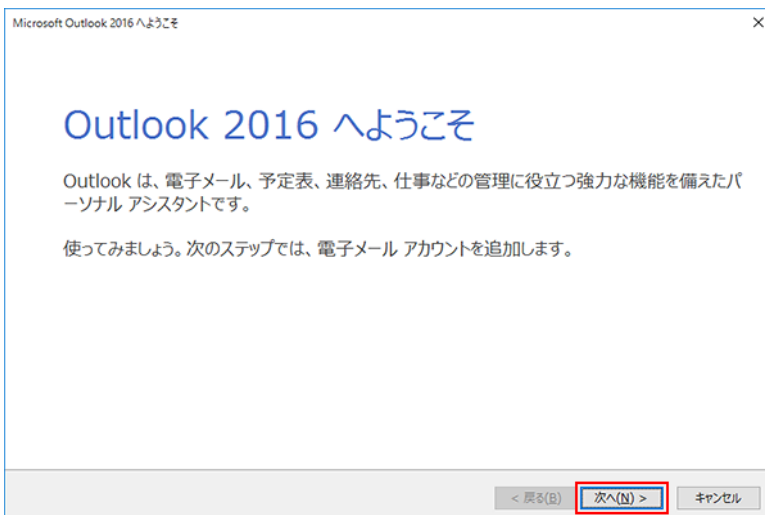


「ファイル」画面が表示されます

「情報」→「アカウントの追加」をクリックします。④に進みます



② 「Microsoft Outlook 2016スタートアップ」画面が表示します 「次へ」をクリックします



③ 「電子メールアカウントの追加」画面が表示します 「はい」を選択し、「次へ」をクリックします



④ 「自動アカウント セットアップ」の画面が表示します

「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする」に チェックを入れて「次へ」をクリックします

アカウントの追加

自動アカウント セットアップ
多くの電子メール アカウントを自動的に設定できます。

☐ 電子メール アカウント(A)

名前(N):
例: Eiji Yasuda

電子メール アドレス(E):
例: eiji@contoso.com

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):
インターネット サービス プロバイダーから提供されたパスワードを入力してください。

☒ 自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑤ 「サービスの選択」画面が表示します

「POP または IMAP」を選択し、「次へ」をクリックします

アカウントの追加

サービスの選択

☐ Outlook.com または Exchange ActiveSync と互換性のあるサービス(A)
Outlook.com などのサービスに接続し、電子メール、予定表、連絡先、タスクにアクセスします

☒ POP または IMAP(P)
POP または IMAP 電子メール アカウントに接続します

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑥ 「POPとIMAPのアカウント設定」画面が表示します

各項目を入力し、画面右下の「詳細設定」をクリックします

● ユーザー情報

名前(Y) : お名前を入力してください

電子メールアドレス(E) : メールアドレス

● サーバー情報

アカウントの種類(A) : 「POP3」 *IMAPの場合「IMAP」

受信メールサーバー(I) : **pop3.infonia.net** POPサーバー名

送信メールサーバー (SMTP) (O) : **post.infonia.net** SMTPサーバー名

● メールサーバーのログイン情報

アカウント名(U) : **POPユーザー名**

パスワード(P) : **POPパスワード**

パスワードを保存する(R) : **チェックする**

● 入力後「詳細設定」をクリックしてください

⑦ 「送信サーバー」タブをクリックしてください

各項目を入力してください

● 送信サーバー (SMTP) (Q)は認証が必要 : **チェックする**

● 次のアカウントとパスワードでログインする(L) : **チェックする**

● アカウ名 : **SMTP認証ユーザー(アカウント)名**

※メールアドレスを入力してください。

● ● ● @imart.or.jp

● パスワード : **SMTP認証パスワード**

(POPパスワードと同じです)

● 「パスワードを保存する」に**チェックする**

● 入力後「詳細設定」の**タブ**をクリックしてください

⑧ 「詳細設定」タブをクリックします

- 受信サーバー（POP3）（I）：995 IMAPの場合は993
- このサーバーでは暗号化された接続（SSL/TLS）
必要(E):チェックする
- ※IMAPの場合： 使用する暗号化接続の種類:SSL/TLS
- 送信サーバー（SMTP）（Q）：465
- 使用する暗号化接続の種類:SSL/TLS

SSL利用無し

- 受信サーバー（POP3）（I）：110 IMAPの場合は143
- このサーバーでは暗号化された接続（SSL/TLS）
必要(E):チェック無
- ※IMAPの場合： 使用する暗号化接続の種類:なし
- 送信サーバー（SMTP）（Q）：587
- 使用する暗号化接続の種類:なし
- 配信：お客さまのご利用にあわせてチェックしてください
サーバーにメールのコピーを置くにチェックすると
メールボックスにメールのコピーが残ります。
*メールボックスの使用容量が増加します。
- 入力後「OK」をクリックしてください

⑨ ⑥の画面にもどります。 右下の「次へ」をクリックします。

⑩ テストアカウントを実行します
受信・送信の状況が「完了」で「閉じる」をクリックしてください

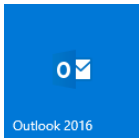
タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログイン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

⑪ 「完了」の画面が表示します 「完了」をクリックしてください

タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログイン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

以上で設定完了です。

- ① Outlook 2016を起動します



- ② 「ファイル」をクリックします。



- ③ 「ファイル」画面が表示されます

「情報」→「アカウントの設定」→「アカウントの設定（A）」をクリックします



- ④ 「アカウント設定」の画面が表示します

メールアドレスを指定し、「変更」をクリックします



- ⑤ 「POPとIMAPのアカウント設定」画面が表示します 各項目を確認し、画面右下の「詳細設定」をクリックします

アカウントの追加

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報

名前(X): お名前

電子メール アドレス(E): △△@○○○.jp

サーバー情報

アカウントの種類(A): POP3

受信メール サーバー(I): POPサーバー名

送信メール サーバー (SMTP)(Q): SMTPサーバー名

メール サーバーへのログイン情報

アカウント名(U): POPユーザー名

パスワード(P): *****

☒ パスワードを保存する(R)

☐ メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト

アカウント設定のテスト(I)

☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)

☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

● ユーザー情報

名前： お名前を入力してください

電子メールアドレス：メールアドレス

● サーバー情報

アカウントの種類(A)：「POP3」 *IMAPの場合「IMAP」

受信メールサーバー(I)： pop3.infonia.net

POPサーバー名

送信メールサーバー (SMTP) (O)： post.infonia.net

SMTPサーバー名

● メールサーバーのログイン情報

アカウント名(U)： POPユーザー名

パスワード(P)： POPパスワード

パスワードを保存する(R)： チェックする

● パスワード：POPパスワード

● パスワードを保存する：チェックする

● 入力後「詳細設定」をクリックしてください

- ⑥ 「送信サーバー」タブをクリックしてください

各項目を入力してください

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☐ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☒ 次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N): SMTP AUTH アカウント

パスワード(P): *****

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(O)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

● 送信サーバー (SMTP) (Q)は認証が必要：チェックする

● 次のアカウントとパスワードでログインする(L)：チェックする

● アカウ名：SMTP認証ユーザー(アカウント)名

※メールアドレスを入力してください。

●●●@imart.or.jp

● パスワード：SMTP認証パスワード

(POPパスワードと同じです)

● 「パスワードを保存する」にチェックする

● 入力後「詳細設定」のタブをクリックしてください

⑦ 「詳細設定」タブをクリックします

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): **995** 標準設定(D)

☒ このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(Q): **465**

使用する暗号化接続の種類(C): **SSL/TLS**

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1 分

配信

☒ サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

☐ サーバーから削除する(R) 14 日後

☐ [削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

- 受信サーバー (POP3) (I) : **995** IMAPの場合は**993**
- このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) 必要(E):**チェックする**
- ※IMAPの場合 : 使用する暗号化接続の種類:**SSL/TLS**
- 送信サーバー (SMTP) (Q) : **465**
- 使用する暗号化接続の種類:**SSL/TLS**

SSL利用無し

- 受信サーバー (POP3) (I) : 110 IMAPの場合は143
- このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) 必要(E):チェック無
- ※IMAPの場合 : 使用する暗号化接続の種類:なし
- 送信サーバー (SMTP) (Q) : 587
- 使用する暗号化接続の種類:なし
- **配信 : お客さまのご利用にあわせてチェックしてください**
- サーバーにメールのコピーを置くにチェックするとメールボックスにメールのコピーが残ります。
*メールボックスの使用容量が増加します。
- 入力後「OK」をクリックしてください

⑧ ⑤の画面にもどります 右下の「次へ」をクリックします

アカウントの追加

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報

名前(N): お名前

電子メール アドレス(E): △△@○○○.jp

サーバー情報

アカウントの種類(A): POP3

受信メール サーバー(I): POPサーバー名

送信メール サーバー (SMTP)(Q): SMTPサーバー名

メールサーバーへのログイン情報

アカウント名(U): POPユーザー名

パスワード(P): *****

☒ パスワードを保存する(B)

☐ メールサーバーがセキュリティで保護された(スワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト

アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

アカウント設定のテスト(T)

☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(N)

☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

⑨ テストアカウントを実行します
受信・送信の状況が「完了」で「閉じる」をクリックしてください

テストアカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク	エラー	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログイン		完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信		完了

⑩ 「完了」の画面が表示します。「完了」をクリックしてください

アカウントの追加

すべて完了しました

アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。

別のアカウントの追加(A)...

< 戻る(B) **完了**

以上です。